

# 令和4年度 学力向上を図るための全体計画

- 日本国憲法、教育基本法、学校教育法等関係法規
- 東京都教育委員会の教育目標等
- 大田区長期基本計画
- 大田区教育委員会教育目標  
おお教育ビジョン

- 学校教育目標
- よく考える子
- 思いやりのある子
- 明るくじょうぶな子

- 学校地域の実態：古くからの商店街、住宅地  
今年度、学校創立86周年
- 地域・保護者の期待や願い：安全・安心な学校：基礎学力の定着と心身の健全な育成
- 期待される児童像：基礎学力を身に付け、思いやりのある児童

## 各教科の指導の重点

- ・基礎基本を徹底する
- ・思考力、判断力を鍛え、豊かな表現力を身に付ける。
- ・一部教科担任制
- ・児童主体の学び→授業の中で交流の場を意図的に設ける。

## 外国語活動の指導の重点

- ・1年生から英語に親しむ
- ・3年生以上は英語に慣れ、コミュニケーション能力を培う。

## 総合的な学習の時間指導の重点

- ・地域環境を生かした教育活動
- ・地域福祉活動推進
- ・ICTを活用した教育
- ・地域人材を活用する

## 進路指導の重点

- ・自分の未来に夢を持たせる。
- ・学年に応じた望ましい生き方を育む
- ・蓮沼中学校との連携
- ・特別支援教室との連携

## おなづか小学校が目指す学校像

- ・「**主体的に学び、心身ともに強くしなやかな児童**」を育成する学校  
<学習>やる気をもち粘り強く取り組む児童  
<体力向上>めあてに向かってあきらめずに取り組む児童  
<心>困難なことがあっても乗り越えられる強さとしなやかさを備えた児童
- ・「チームおなづか」として、全教職員・保護者・地域全体で児童を育成する学校

## 本校における「確かな学力」

### 「確かな学力」向上のための方策

- 自ら学ぶ意欲・主体的に対応する態度の育成
- 基礎的、基本的な知識・技能の定着
- めあてに向かって、あきらめず粘り強く取り組む態度の育成

### 具体的な取り組み

- ・魅力ある授業づくり  
(分かりやすい授業の実践・ICTの効果的な活用・ユニバーサル授業の展開)
- ・校内研究の充実  
研究主題 「確かな学力を身に付け、主体的に学ぶ児童の育成」
- ・知識・技能の徹底を図る  
(反復学習・小テストの活用・朝学習・補習教室)
- ・落ち着いた学級づくり  
(学習規律の徹底とお互いを認め合える意識の醸成)
- ・「家庭学習定着週間」を学期1回設定し、家庭学習の定着を図る。

## 道徳教育の指導の重点

- 豊かな心の育成
- ・自分理解を深め、自己有用感を育う。
- ・自他の尊重
- ・規範意識の向上
- ・思いやりと協力する態度
- ・地域に貢献する意欲と態度の育成

## 特別活動の指導の重点

- ・児童の主体的な活動を重視する
- ・望ましい集団活動の構築を通して「かかわる力」をそだてる。
- ・認め合い、協力する体験を通して自己有用感を育てる。

## 生活指導の重点

- ・「返事・あいさつ、後始末」等の基本的な生活習慣
- ・集団の中でのルールの共通理解と実践の徹底
- ・命、友達を大切にする
- ・規範意識を育てる

## 本校の授業改善にむけた視点

指導内容・方法などの工夫	教育課程編成上の工夫	校内における研究や研修の工夫	評価活動の工夫	家庭や地域社会との連携の工夫
<p>・体験的な学習活動や問題解決的な活動を重視し、学習への意欲や関心を高め、自ら考え、調べ、表現する力の育成を図るとともに言語活動の充実を図る。</p> <p>・交流など、児童相互の学び合いの場面を設定し、図や言葉で自分の考えを表現、説明させて、よりよい考えに気付かせる。</p> <p>・一部教科担任制により教材研究を深め、効率のよい指導を目指す。</p> <p>・単元末のワークテストを「教員の指導の成果」と捉え、60点以下の児童に補習を行い、80点を目指して再チャレンジさせる。</p>	<p>・TTや少人数指導、教員の特性を生かした交換授業等を行い、子ども一人一人の能力や個性に応じた指導に努め、基礎基本の定着を図る。</p> <p>・問題解決のプロセスを重視し、一人一人の自力解決や児童相互の交流を通し、思考力・判断力・表現力を育てる。</p> <p>・学習効果測定や都の学力向上調査の検証を行い、授業改善推進プランを生かした実践を行う。</p>	<p>・確かな学力を身に付け、主体的に学ぶ児童を育成するために、校内研究では、①めあてを明確にすること②既習事項を活用すること③問題解決に至る見通しをもたせ、自力で解決させること④話し合い活動を意図的に取り入れること等を盛り込んだ授業づくりに取り組む。</p> <p>・教員のICT活用能力の向上を目指して、年に3回の校内研修と校内OJT研修の充実を図る。</p> <p>・特別支援教育の教員によるOJT研修の充実、配慮を必要とする児童への指導方法や対応方法を、通常の学級のユニバーサルデザインの授業に生かしていく。</p>	<p>・指導展開に応じた評価場面を設定する。</p> <p>・具体的評価目標の設定</p> <p>・学校公開のアンケートの記述式部分を反省し、検討して結果を職員会議で共有し、反省をもとに授業改善していく。</p> <p>・区などの学力調査結果を地域教育連絡協議会に報告し、学力向上のための意見を求めて、改善策を講じ、保護者に知らせる。</p>	<p>・学校支援地域本部「スクールサポートおなづか」を立ち上げ、地域の方の協力を得て活動を進めている。 (①バイオリン教室②夏わくイベント③子ども見守り隊④お話の会など)</p> <p>・「返事・あいさつ・後始末」、「早寝、早起き、朝ごはん」、「家庭学習週間教科週間」を設け、全教職員で取り組む。</p> <p>・民生児童委員会の方との情報交換会を設け、地域と連携し、児童の健全育成を図る。</p> <p>・子ども家庭支援センターとのケース会議の充実</p>